

科目名	有機化学		学年	類型・コース	単位数
			2年	総合選択 A1・工業(バイオとかがく)	2単位
学習の目 標	医薬品や生体物質の基本となる有機化合物の名前や構造、反応を理解し、薬品を扱う上で必要となる基礎的な知識を身につける。				
教科書 副教材	主たる教材：有機化学がわかる（技術評論社） 副教材：自作プリント				
評 価	評価法	定期考査や小テスト、提出物の内容、授業に対する取り組みや意欲を総合的に評価します。特に定期考査では観点別の問題により、その状況を確認します。			
	評価 観点の 趣 旨	a	知識・技術	基本となる有機化合物の名前や構造、反応を理解しているかを定期考査や小テストなどで確認します。	
		b	思考・判断・表現	なぜそのような名前や反応になるのかを考え、説明できるかを授業での発表や反応、レポート、定期考査などで確認します。	
		c	主体的に学習に取り組む態度	授業での発表や反応、理解を深めるノートやレポート、追加課題の考査への出題などで主体的に取り組んだかを確認します。	
	上に示す観点に基づいて、各観点で評価し、学期末に観点別学習状況の評価（A、B、Cの3段階）および評点（1～10 の 10 段階）にまとめます。学年末には観点別学習状況の評価（A、B、Cの3段階）および評点（1～5 の 5 段階）にまとめます。				

期	月	時数	学習項目・単元	学習内容	評価方法		
					a	b	c
1学期	4月	6	有機化合物とは	有機化合物の特徴、化学結合と分子の形 初級バイオ技術者認定試験に関わる内容	定期考査	定期考査	定期考査
	5月	8	有機化合物の分類・表記	有機化合物の分類と表記、官能基と系統名 初級バイオ技術者認定試験に関わる内容			発表反応
	6月	8	脂肪族炭化水素	アルカン・アルケン・アルキン・ハロゲン化アルキルの性質、構造、命名、反応、初級バイオ技術者認定試験の内容	小テスト	発表反応 レポート	ノート レポート
	7月	4	アルコール エーテル	アルコール、エーテルの性質、構造、命名、反応			
夏休み							
2学期	9月	8	カルボニル化合物	ケトン、アルデヒドの性質、構造、命名、反応	定期考査	定期考査	定期考査
	10月	8	カルボン酸と誘導体	カルボン酸とその誘導体の性質、構造、命名、反応			
	11月	8	その他の鎖式化合物	その他の鎖式化合物（アミン、スルホン酸など含窒素、含硫化合物）の紹介	小テスト	発表反応 レポート	発表反応
	12月	4	芳香族炭化水素	ベンゼンの構造と特徴、その他芳香族炭化水素			ノート レポート
冬休み							
3学期	1月	6	芳香族化合物と反応	芳香族化合物の反応と配向性、	定期考査	定期考査	定期考査
	2月	6	有機化学と暮らし	石油工業製品やプラスチック、医薬品 など			発表反応
	3月	4	有機化学と生体分子	生体分子（炭水化物、脂質、タンパク質など）の構造と特徴	小テスト	発表反応 レポート	ノート レポート

担当者からのメッセージ（学習方法など）
有機化学は覚えなければいけないことも多いが系統的に理解することが最も重要である。そのときの暗記だけに頼らず、しっかりと内容を積み上げること。シラバスは理想的に進んだ時の内容であり、理解の状況によって進度を調整するため最後まで進まないこともある。追加課題は解答なしで考査に出題することがある。1学期は初級バイオの資格に向けた内容も取り上げて解説します。

